

元気戦略見直しの方向性

第4次元気戦略策定の平成30年以降、感染症の影響等によるデジタル化の進行、カーボンニュートラルの実現に向けた動きや、**新しい働き方への対応**など、中小企業を取り巻く環境が大きく変化していることから、地域経済を支える中小企業が社会経済環境の変化に対応し、持続可能な成長を可能とする視点を取り入れ、第5次戦略を策定する。

第5次元気戦略骨子(案)イメージ

【現状と課題（中小企業・小規模企業を取り巻く環境）】

- (1) 感染症の影響と社会経済環境の変化 (2) **グローバル社会**
 (3) **災害等リスクの増大** (4) **人口減少・市場の縮小** (5) **労働市場の変化**
 (6) **働き方に対する意識の変化** (7) **デジタル化の進展**
 (8) **カーボンニュートラルやSDGsの社会的要請の高まり** (9) 広域交通網の充実

【目指すべき姿】

地域経済を支える中小企業の持続可能性を高めるとともに、社会経済環境の変化に対応し、千葉らしい力強い成長を実現

【基本的方向】

- 1 成長の後押し
- 2 経営基盤の強化
- 3 人材の確保・育成・定着
- 4 地域活性化

×

【施策横断の視点】

- I デジタル技術の活用
- II SDGsの推進
- III グローバルな動きへの対応
- IV **ライフスタイルの多様化**

対応

【施策展開】

- 1 成長の後押し
 - ・意欲的な取組の促進（起業・創業、ベンチャー、成長産業（バイオ、食品、**健康・医療**など）、事業再構築、販路開拓、デジタル化）
 - ・産学官連携・企業間連携の促進（交流機会、オープンイノベーション）
 - ・**研究開発力や技術力向上への支援**（技術支援、共同研究）
- 2 経営基盤の強化
 - ・多様な経営課題への対応（支援機関等による伴走支援、資金繰り、事業承継）
 - ・SDGsの取組の促進（カーボンニュートラル、SDGs経営）
 - ・リスクマネジメントに係る支援（BCP）
- 3 人材の確保・育成・定着
 - ・**多様な人材の確保・育成への支援**（女性、高齢者、障害者、外国人、**副業・兼業人材**、デジタル人材、リスキリング）
 - ・多様な働き方を実現する環境整備（ワーク・ライフ・バランス、テレワーク）
- 4 地域活性化
 - ・地域づくり・まちづくりと連携した中小企業の活性化（商店街、**企業誘致**、**地域課題解決**）
 - ・地域の特色を活かした地域活性化（**地域資源**、ワーケーション、観光振興）

【推進するための方法】

- ・支援体制の充実 ・官公需の推進 ・情報発信の強化 ・戦略の進行管理